

今から50年以上も前のころで、新宿末広亭で初めて寄席公演を見たのが始まりです。当時は、柳家小さん、春風亭柳橋、桂三木助、古今亭今輔、三遊亭円生、鈴ヶ舎馬風、古今亭志ん生などの落語家が全盛時であった。

メディアへ出演も二十の座やト子教室へも出演していた。現在の落語家でも立川志の輔、笑福亭鶴瓶、笑福亭仁鶴などがテレビに、毒蝮三太夫がラジオに出演しております。三遊亭楽太郎も円楽を襲名し人気を伸ばしています。

寄席の形式

落語、講談のほか、腹話術、漫才、奇術、曲芸、俗曲、紙切りなどの色物もはさんで寄席形式の公演が行われています。

落語の中の歳時記

春 長屋の花見 柳家小さん 春風亭柳橋
夏 酢豆腐 桂文楽 三遊亭円生
たがや 三遊亭円楽 古今亭志ん生
秋 目黒のさんま 三遊亭金馬
冬 時そば 柳家小さん 春風亭柳橋

お中入り

お中入りの後、本日は春風若イチロー師匠をお迎えしておりますので腹話術をお楽しみ下さい。